

日本での交換留学

パリシテ大学
レズール ソレン

私は 2023 年 9 月から 2024 年 9 月まで、お茶の水女子大学で学びました。この作文では、この交換留学での経験について話したいと思います。



Figure 1: お茶の水女子大学のキャンパス

まず、大学のキャンパスと寮について話したいと思います。キャンパスは静かで美しい場所だと思いました。季節ごとに風景が全く変わり（紅葉や桜など）、とても感動しました。さらに、私が住んでいた寮である音羽館は、教室から徒歩数分の場所にありますので、毎日公共交通機関を利用する必要がありませんでした。寮は非常に清潔で、音羽館のスタッフもとても親切です。何か問題があれば、いつでも助けてくれます。コンセプトルーム（キッチンやシアタールーム）は、寮の友達と一緒に活動を計画するのに便利でした。

次に、大学での授業と活動について話したいと思います。一般的に、ほとんどの授業は他の交換留学生向けです。私の場合、単位を取得するためには日本語のセミナーを必須で受講しなければなりません。このようにして、今年の私の指導教官である齊藤先生の授業を受けることができました。授業を通じて多くのことを学び、日本語も上達したと思います。また、自分自身も成長し、自信を持つようになったと思います。最初は日本語で話すのが非常に難しかったですが、今では文法や語彙の間違いが

あっても、話せるようになりました。日本語が上達しただけでなく、自分自身についても多くのことを学びました。たくさんの素晴らしい出会いがあり、日本人の学生や他の交換留学生と友達になりました。私はフランス語カフェの担当もしており、新しい友達を作る機会にも恵まれました。

大学生活以外の日常生活について話すと、素晴らしい経験をたくさんしました。京都、姫路、鎌倉、そして北海道の札幌など、多くの場所を旅行しました。見た風景や出会った人々を決して忘れません。

この経験の紹介を締めくくるにあたり、お礼の言葉をしたいと思います。年間を通じてサポートしてくださった先生方に感謝します。また、困っている時にすべての交換留学生を助けてくださった萩原先生にも感謝します。齊藤先生、毎月私の振り返りシートを読んでくださってありがとうございます。音羽館のスタッフや国際課のスタッフにも、手続きや健康上の問題など、たくさん支援いただき、ありがとうございました。外国語教育センターにも、フランス語カフェの

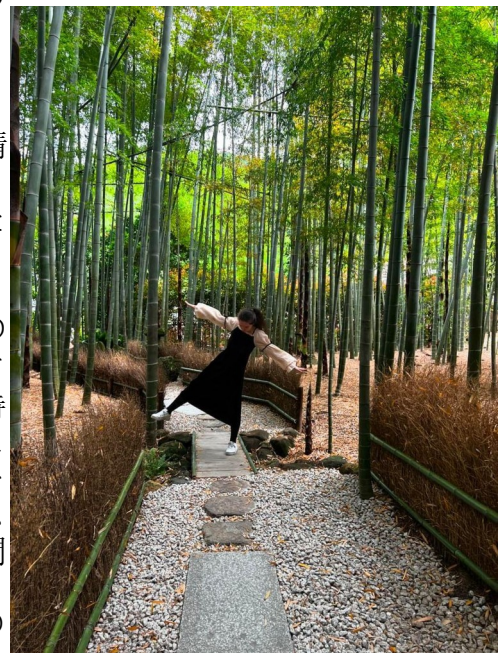


Figure 2: 鎌倉

担当として迎えていただき、ありがとうございました。私のチューターに、矢次真歩さん、指導してくださってありがとうございました。最後に、一緒に素晴らしい時間を過ごした友人たちにも感謝します。困難な時もありましたが、そのような時には、他の人からの光がいつもあると思います。この経験と出会いに心から感謝しています。